集う600の若人

第1回県下青年大会終る

和歌山県青年団体連絡協議会と県教育委員会が共同主催の戦後初めての「県青年大会」は、二月二日午後一時から白浜町小学校で男女団員代表約六百名が出席して開催された。

大会役員として会長に三崎巌（県青協会長）副会長に宮田泰弘（同副会長）、青木重雄（同）、大会委員長に中井正幸（西牟婁）の諸氏を指名委嘱した後、三崎会長と

有望な椎茸人工栽培

輸出に新しい分野ひらく

農山村の経済を安定させるための副業はいろいろありますが、その中でも椎茸の人工栽培は最も有利なものの一つです。幸い本県は雨量が多く、椎茸の原木（広葉樹）も豊富で、椎茸栽培にまことに好適した条件をそなえていますので、この副業の将来性が大いに期待されているわけです。

椎茸は別に珍らしいものではなく、わが国では千数百年前から栽培されて、特有の香気と味覚で日本人の食膳に親しまれて来たのですが、その栄養的価値や医薬品的価値というものはあまり知られていなかったようです。また椎茸は中華料理には欠くことのできない珍味として愛好され、戦前は中国へ多量に輸出されていましたが、最近は国際状勢によって中共治下との貿易がむつかしくなり、輸出椎茸の将来を懸念する声も起ってきました。しかし一方では椎茸にビタミンABCDが含まれていることが発見され、大変栄養価値が高いことが科学的に実証されましたので、アメリカ、カナダ、ハワイ、シンガポール等へ輸出する新しい分野が開けてきたことは注目すべきことです。特にアメリカでは椎茸の中に含まれているビタミンDを「せむし」の予防と治療に用いるようになり、またペニシリンを培養する原料にも利用されますので、だんだん需要が多くなってきています。

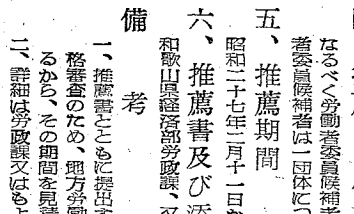
現在市販されている椎茸は非常に高価で大衆向でないようにも考えられますが、栽培方法を合理化して生産費を安くし、販売方法をも合理化すれば国内需要もまだまだ多くなる余地が残されていますから、必ずしも椎茸販売の将来は悲観すべきではないでしょう。

それではどうして栽培方法を合理化するかといいますと、優良な系統の椎茸原菌を培養してこれを直接椎茸原木に注入して立派な形質の椎茸を多量に、安全確実にしかも短期日の間に生産することです。この培養菌糸による椎茸の人工栽培法は近年全国に普及されて、今や時代の寵児になろうとしています。昔から椎茸栽培は未経験者には大へん難しく、危険な事業のように言い伝えられてきましたが、一部の人達の独占技術のように考えられていたのですが人工栽培法の普及は見事にこの問題を解決して、素人でも至極簡単に栽培の技術を身につけることができるようになりました。

椎茸種菌の形質と原種植付の方法が多少異るという噂いで、○○式とか△△式というような民間企業会社が販売している椎茸種菌は全国で相当な数に上っています。いずれもそれぞれ特徴をあげて宣伝し売込んでいますが、若しこれらの種菌を購入されるときは、その種菌からどういう形質の椎茸が発生するのか、よく確めることが肝要です。発生した椎茸が生（なま）用で、生椎茸としては大へん優秀であっても乾燥のきかないものがありますから、このような点に注意して下さい。

椎茸は農山村の副業として大いに奨励すべきだという見地から、県では優良な椎茸種菌を廉価に配付するために、林業試験場で種菌の培養を実施しています。県立林業試験場ではこの種菌の培養を行うと同時に、椎茸菌の生態研究や優良品種の改良試験に努力を傾注しています。椎茸の人工栽培は今頃が丁度適期です。県下の椎茸栽培熱は日に日に高まり、種菌の購入申込みも増加してきました。

農家経済を安定させる有望な副業「椎茸人工栽培」について、詳細なことをお知りになりたい方は直接林業試験場の種菌培養状況を視察されるか、又は各地に駐在している林業技術普及員や林業経営指導員にお尋ねになれば、明確な回答を与えてくれます。



寫眞右は椎茸左は試験室で菌を培養するビンへ入れているところ（林業試験場）

温床育苗のし方

胡瓜、南瓜、トマト、茄子など、春蒔作果菜類の栽培を計画されている。農家の皆さん方には、すでに温床育苗の準備は完了されて、なかには種蒔を終られた方もいらっしゃることと思いますが、これから種蒔をされようとする方のために、温床育苗中種蒔き作業について、注意しなければならない点をお話しいたしたいと思います。

先づ、その一つは、種蒔き床に使用する。床土の問題で床土の良い、悪いは、苗の生育に影響することが極めて大きいのであります。即ち床土は深さ三乃至四寸の比較的限られた範囲で、密植した苗の生育を支えなくてはならないわけでありますから、第一に、よく肥えた土で、苗の生育中、除々に吸われて利用されるだけの、肥料分を含んだものでなければなりません。第二は、水かけした水のしみとうりがよく、しかも水保ちのよい土であること。第三には、立枯病やネマトーダなど病害虫のおそれのない土であることであります。床土の消毒は、厚さ六寸位に積んだ床土の表面に一尺本方間隔に二寸位の深さに小孔をあけ、クロールピクリンを、一ケ所に1/8寸位の見当で、滴下して、すぐ足で小孔を踏みつぶし全部に行きわたれば、又六寸程度土を積み、くり込しクロールピクリンを入れ段々と積み重ねて行き、最後に、古菰などで、周囲を覆って置きますが、この消毒方法は、すくなくとも、床土を使用する一月前に終っておかねばなりません。

次に畦子面と床土の距離についてであります。

一般に、畦子と床土の面が、あまりすぎているために、発芽が揃わず、又、苗が徒長しているのをよくみかけるのでありますが、種蒔き床では二、三寸の距離が適当でありまして、床土面ができるだけ畦子に接近するよう、床穴を掘る場合や、踏込みに当って注意しなければなりません。

床土の準備が整いますと、いよいよ種下しをする段取りになるわけですが、種子の発芽温度については、茄子で一昼夜、胡瓜で五、六時間、美しい水に浸して蒔きます。これは発芽を容易にする効果がありますが、余り時間が長すぎれば、却って発芽を悪くし、種蒔き後水かけを抑え目にする必要があります。

種蒔き時期の、種子の浸種については、茄子で一昼夜、胡瓜で五、六時間、美しい水に浸して蒔きます。これは発芽を容易にする効果があります。

種蒔きは条蒔きにする方が、ばら蒔きにするよりも、発芽後の間引きや、立枯れ病の出た場合に、薬かけをするにも便利であります。

種子は厚いところと、薄いところのないように蒔き、瓜類では、条に唐角に種子を並べて蒔くことは、発芽後、双葉の向が揃うので、生育や、手入れが都合よく行きます。

種蒔きが終りますと、篩にかけた細い土か川砂を薄く種子のかくれる程度にかけ、水かけをして畦子をのせ菰又は筵を覆って発芽をまちます。

発芽が始りますと、日中は覆いをとり、陽に当てますが、この際、ガラス畦子で、発芽が始まったので、晴天の日に急いで覆いをとり、強い光線を一度に当てた為に、苗がやけてしまうことがありますから、注意しなければなりません。

発芽後は天候と温床の温度、床土の乾きに気をくばり、理想的な健苗の育成につとめるようにして頂きたいと存じます。

秋落田改善の好機

先ず池や川から客土を

秋落水田の改善策を実施する時期となりましたので、こゝにその方法を御紹介致します。

元来本県では水稲作付面積約二万七千町歩の内広い意味で秋落水田は約二万町歩を算すと云われ、米の生産上極めて重要な問題となっています。そこでこれの原因及びその対策が、県の農事試験場を中心として、色々技術的に研究されて来ましたが、最近の研究の結果その原因が比較的単純で、従ってこの対策は特殊の場合を除く他は、大体県全体について同じ考え方で行って差支えないのではないかと思われます。

そこで、本県の水稲の秋落の主な原因は何かと云う問題になるのですが、これは結局田圃の土の内容が不味いと云うことになります、田圃の土に酸化鉄が不足しますと、稲の生育に必要なその他の成分も土の中に出る機会が少くなり、従って稲は栄養生調に陥ることになりますが、それと同時に、気温が段々暑くなり八月の上旬中旬頃になりますと、土の中に硫化水素ガスが発生し、これから充分に養分を吸収し大いに米の増産に大役を負うべき肝心の根が傷められ、養分の吸収が妨げられて、秋落の直接的原因となるのであります。

処がこのように田圃の土が酸化鉄を不足しますと、又土の中で大切な役割を果している粘土分も、その働きを充分に発揮することも出来なくなり、折角施した肥料さえも土に吸着保持され難くなり、肥切れの現象を起し易くなります。

本県の秋落水田をよく調べて見ますと、以上のように、田圃の土の処が非常に多いのであります。

そこでこれの改良の方法は結局酸化鉄を多く含んだ生き生きとした粘土を入れ土することが最も合理的でありまして、実際的な手段としては、出来るだけ粘り気の強い（粘土の活力を表す）赤い土（酸化鉄の含有を示す）が、池や川の泥等を反当二千貫以上入れ土すると良いと云うことになります。

而しこれらには何れも相当な労力がいりますし、又池や川の泥等は渇水期に取り安いのですから、農閑期で、渇水期の今、これらの土を用意しておいて、田植前に入れ土する方法が最も合理的であると思います。

処が自家労力が充分でないとか近くに適当な入れ土の材料が得にくい所では、肥鉄土、珊瑚肥鉄、焙鉄等の酸化鉄を多く含んだ物料を入れることも結構と思いますが、粘土分の働きを併せて考へますと何所でも完全にこれらで秋落を防止出来るとは云えないと思います。

尚稲の秋落改良の方法としては、堆肥をたくさん施すとか、硫酸を含まない肥料を使うこと等が必要となりますので、今から堆肥の増産に努めるとか、稲の肥料の準備には、窒素質肥料としては尿素、石灰、窒素（但し常時湛田は不向き）塩安、燐酸肥料としては燐成燐肥、トーマス燐肥、窒素、燐酸加里、含有肥料としては固形肥料等を購入しておくように心掛けることも誠に大切と思います。

（農業改良課）

委員候補者の推薦

本県地方労働委員会は皆様方の御協力によりまして複雑な社会情勢の下に発生する幾多困難な労働問題の解決に努力いたし、多大の成果を挙げて参りましたことは真に感謝に堪えない次第であります。

さて、現委員の任期も来る五月十四日をもつて満了いたしますので労働組合法施行令第二十一条の規定にもとずいて、今度第七期委員の任命を行うことになりました。

そこで、この際各労働組合や使用者団体においては地方労働委員会のもつ重要性に対し深い関心と認識を持つて、この貴重な権利をほう棄することなく次の「和歌山県地方労働委員会委員候補者推薦要項」により熱意ある有能の士を推薦して下さい。

和歌山県地方労働委員会委員候補者推薦要項

一、推薦できるものゝ資格

1　労働者委員を推薦できる資格を有するものは、和歌山県の区域内のみに組織を有し、和歌山県地方労働委員会において、労働組合法第二条及び第五条第二項の規定に適合する労働組合であることを立証しその資格ありと決定された労働組合であること。

2　使用者委員候補者を推薦できる資格を有するものは、和歌山県の区域内のみに組織を有し、主として労働問題に関する事務をその業務の内容とするか、又は業務の主要な部分として労働問題を取扱う使用者団体であること。

二、推薦の手続

1　労働組合は、推薦書にこの推薦手続に参与するために必要な地方労働委員会から交付された組合資格決定書写を添付すること但しこの推薦手続に参与するために必要な資格立証手続を経ていない労働組合にあつては、地方労働委員会会長宛の資格審査申請書並びに関係書類各二通を推薦書に添付して提出すること。

2　使用者団体は推薦者によること。

三、推薦されるものゝ資格

公職追放該当者をのぞく外、委員に任命されるにあたつては、国家公務員法及び国会法の兼職禁止規定並に労働組合法第十九条第八項の欠格規定制限をうけるものであること。

四、推薦する候補者の数

なるべく労働者委員候補者は、一労働組合につき三人以内、使用者委員候補者は一団体につき十人前後とすること。

五、推薦期間

昭和二十七年二月十一日から同年三月三十一日までとする。

六、推薦書及び添付書類の提出先

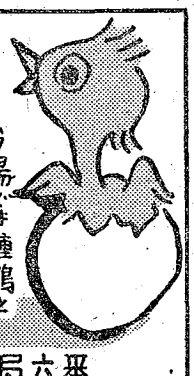
和歌山県経済部労政課、又はもよりの労政事務所

備考

一、推薦書とともに提出する資格審査申請書及び関係書類は、資格審査のため、地方労働委員会に送付し、審査を行うものであるから、その期間を見積つてなるべく早く提出されたい。

二、詳細は労政課又はもよりの労政事務所へ問合せられたい。

鶏雛の捕下げ



当場では種鶏となる初生雛を孵化捕下げいたします　申込下さい

○種雛の捕下
○依託孵化
○養鶏に関する質疑應答並に実地指導

申込先　西牟婁郡朝來村　電話朝來局六番
和歌山縣種畜場種鶏分場

椎茸人工栽培の好期

原木伐採は10月中旬より翌春3月迄

優良純粋培養菌糸は下記試験場で販売

東牟婁郡高池町　和歌山縣林業試験場